



『辛い笑い』（1月26日）を振り返って・・・

クラス、学校ではたくさんの笑いが起こっている。その笑いはずべていいものなのだろうか。

ある日私が登校すると机に落書きがされている。その私を見てクスクス笑っている生徒がいる。次に筆箱がなくなり、ニヤッと笑った生徒が見ていたゴミ箱で発見した。安心してトイレから戻ると机の上にゴミくずが広がっている。そのことを何人もの生徒が楽しそうに笑いながらしゃべっていた。―― 日常であふれている笑い、その笑いについて考えました。

<みんなの感想より>

- 最近、いじめで死んでいく子どもが多いです。その子どもたちは自分では抱えきれなくなって死んでいくことが多いと思います。そこまで辛いならなぜ相談をしないのか「ちくりや!」とか「うざ!」とか言われるのが怖いのだと思います。でも、何もせずに死んだら自分は報われるんですか。母親、父親、その他の人々の心に大きな穴を開けるな! あらぐえ、周りのことなんて、周りの視線なんて気にせず怖がらず、先生に言ったり、保護者に相談することが大事。別にいいじゃないか。自分が嫌なら助けを求めても、何も悪くない。逆に、よく今まで耐えてきた。自分をほめてほしい。聞くのは一時の恥、聞かぬが一生涯の恥というように、一時の恥ですむなら相談した方がいいと思う。自分の人生のためにあらぐえ! (男子)
- 今までは、辛い笑いがあるなんてあまり知らなかったけど、今回そんな笑いをされている人もいて、もしかしたら自分も周りに嫌な思いをさせてしまっているのかな? と思ったので、今後気をつけます! (女子)
- 今回の授業を終えて、僕は人が嫌がったり、悲しがることはしないようにしようと思った。もししてしまったら自分ですぐに止められるようにしたい。(男子)
- 楽しみの笑いというものはいい笑いだけど、辛い笑いというのは、人の気持ちを悪くしたり、孤独を感じさせる笑いなのだとことを改めて分かりました。思ったことを考えずに言ったりしてしまうと、いじめの原因にもつながるので、頭で考えて、自分がされたら嫌だなと思うことは絶対にしないように心がけたいです。(女子)
- 辛い笑いをなくすには、しっかりと自分の意見を持つことが必要だと思います。なぜなら、ある人が人を馬鹿にしてその人が笑っていたときに、その場の空気に流されて笑ってしまったら、それは笑われた人を傷つけるだけで、馬鹿にした人も「ウケた!」ってなって、また人を馬鹿にする。これが続いて笑われた人を死にまで追い詰める。そうじゃなくて「やめろよ!」という一言が言えるか言えないかで、笑われた人を少しでも助けてあげられるし、笑った人も気づけると思うから。僕は、その場の空気に流されず、自分の意見を持った人になりたいと思いました。(男子)
- 「笑う」とうことは、楽しいことやうれしいことがある。でも、中にはそれとは反対の悲しいことや辛いことがある。だから、人のことをよく考えないといけないことが改めて分かった。残りわずかの私たちのクラスが、悲しい・辛いことで笑うようなクラスではなく、楽しい・うれしいことで笑えるようなクラスとして過ごしていきたい。(女子)
- 僕もふだん冗談で「キモイ」と言うことがたまにあるけど、その言葉が相手の気持ちをどこまで傷つけているのかも分からないし、相手の気持ちも分からないから好きなようにしゃべっていた。だけど、毎日の行動、発言を考えて行動しなければならないと感じました。日々考えて、できるだけ人のことを理解し仲良くしていきたいと思った。(男子)
- 私は、辛い笑いをなくすために、どうしたらなくせるかということを考えました。私のクラスは明るくて、みんな元気で、失敗をしても笑えるクラスです。私は、今までいじめのないクラスだったので、そういうことが起こってほしくなかったので、あまり考えないようにしていました。でも、今回の話を聞いて、楽しい笑いだけではないということに気づきました。もし誰かが、楽しいときの笑いではなく、人をいじめるような笑いになったときは、止めてあげたりしようと思いました。あと残りも少ないので、そういうことが起こらないクラスにしたいと思いました。(女子)
- 私は今回の授業で、自分を振り返ることができました。私が友達にひどいことを言っていないか、人を馬鹿にしたことはないか、私が言ったことで、本当に嫌な思いをしている人はいないかと考えることができました。そして、いじめは本当にだめなことだと、改めて思いました。(女子)